

第3回天沼中学校校舎改築検討懇談会

さざんかステッパアップ教室併設について

令和7年6月16日(月)

教育相談担当課長

岡部 洋右

経緯

○令和5年度

- 天沼中学校改築により、さざんか天沼教室をどうしていくか検討が必要となる。
- 旧若杉小の跡地利用により移転する必要のあったさざんか荻窪教室について、児童・生徒の学びやつながりの場の充実を図るために、さざんか天沼教室との併設の可能性を探る。
- 営繕課に教育相談から新教室で必要な面積を提出・検討した結果、併設は可能と判断

○令和6年度

- 移転先を検討したが、馴染のある場所ということ、活動に必要な諸室が確保できるということから併設を選択
- 「杉並区立施設マネジメント計画（第1期）・第1次実施プラン」一部修正

保護者への周知

2024年12月11日(水)

【お知らせ】 さざんかステップアップ教室「荻窪教室」の移転計画と区民意見提出手続きについて

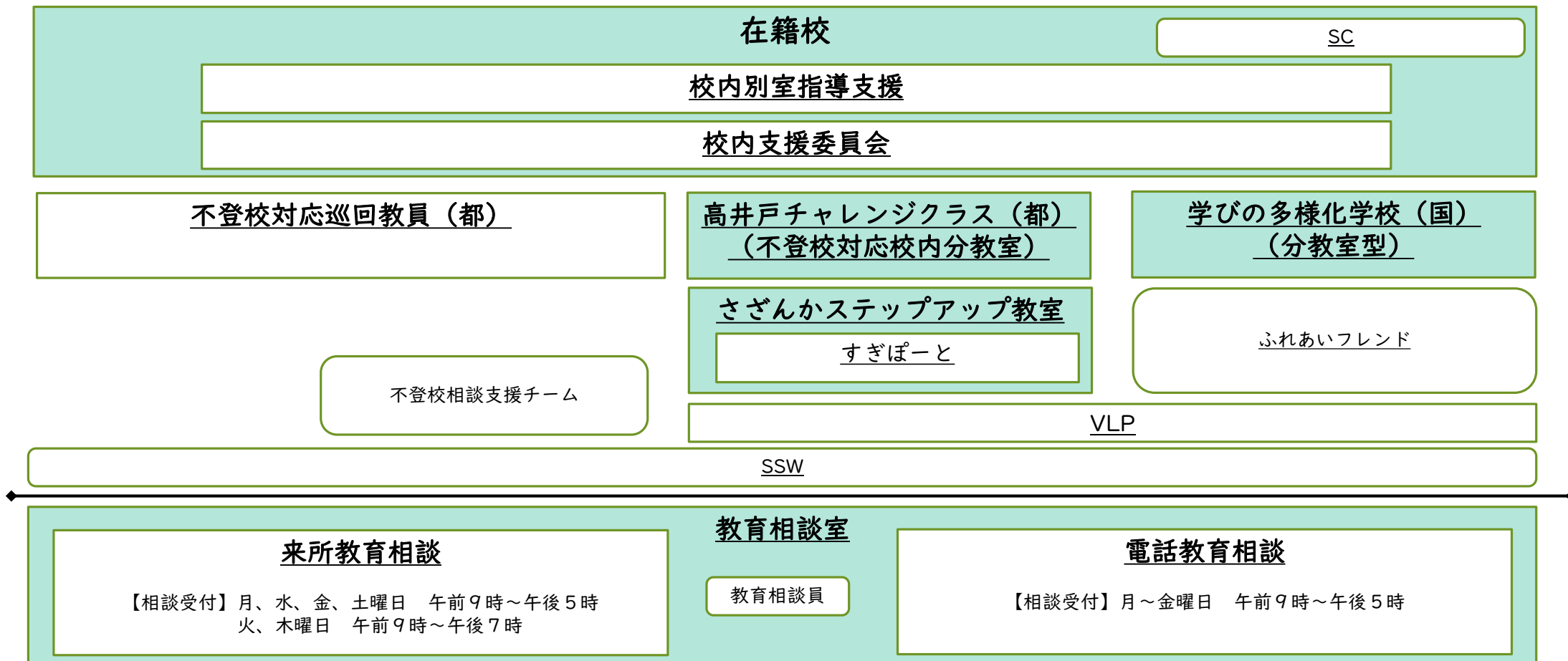
t etoruにて配信

2025年2月25日(火)

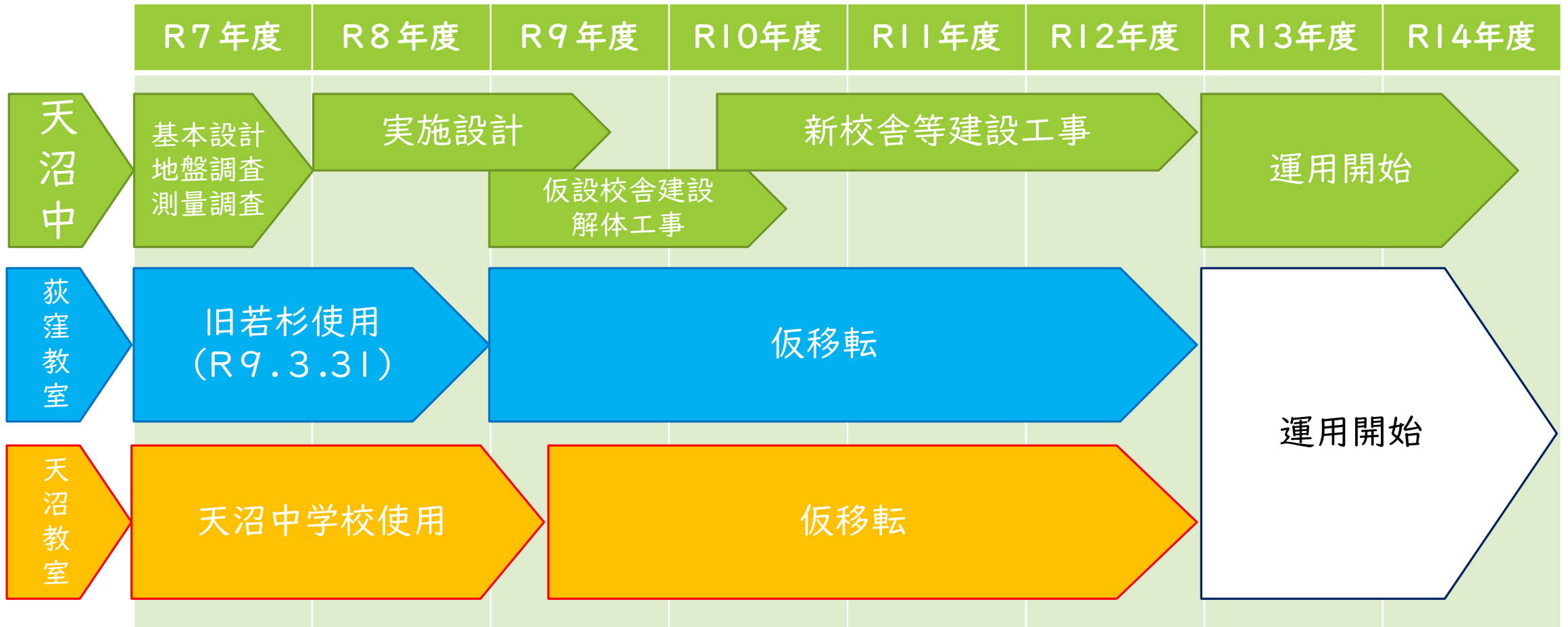
【募集】 天沼中改築検討懇談会委員の方を募集します

t etoruにて配信

令和7年度 杉並区の不登校支援



今後のスケジュール



併設理由

○これまでは、パーティションで区切ることでパーソナルスペースを確保したり、教室のレイアウトを工夫したりして安心できる場づくりをしてきた。

二教室分のスペースを確保できること、個別支援室を設けることなど、より児童・生徒一人一人の多様なニーズに対応できる。

○学年を超えてつながる機会はこれまでも大切にしてきた。

今後は、社会的自立に向け、幅広い年齢層の児童・生徒が同じ空間で過ごすことで、さらに多様な視点から自分や他者を見ることができる。

よりよい学び、つながりの場を

学校の敷地内にあると通えないのでは

これまで行ってきた

「個々の実態に応じた柔軟な対応」や「安心して過ごせる、学べる場」

に加えて

「不登校児童・生徒の多様なニーズに応えることができるような環境整備」
を行うことで、一人一人の思いや成長に寄り添う教室を目指す。

自分なりに学び、つながる場を

学校内に併設する場合の配慮

- 通常の学校施設（メインとなる場所）と区別され、独立して運営できること
- 安心して自分自身を表現できるように外からの目が気にならないこと

安心して学び、つながる場を

体を動かす機会の確保

○ユニバーサルスポーツ（ボッチャ、モルック）

→年齢、国籍、障害の有無に関わらず、みんなが一緒に楽しめるスポーツ

○ダンス

→一緒にダンスを楽しむことで気分転換になる

○ヨガ

→動物のポーズなど簡単な子供向けヨガで柔軟性やバランスを養う

その他、区の施設を利用して全力で体を動かす機会を創出することも検討

工夫して学び、つながる場を